

2026 年度

海外帰国生 入学試験

国 語

注 意

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子の中を見てはいけません。
2. 放送の指示にしたがって、問題冊子に受験番号・氏名を記入します。
次に、解答用紙の指定された場所にQRコードシールをはり、受験番号・氏名を記入します。
3. 試験時間は45分です。
4. 問題は、1ページから13ページまで印刷してあります。試験が始まったら最初に確認し、足りないページがあったら申し出てください。
5. 答えはすべて解答用紙に記入してください。
6. 試験が終わった後、問題冊子・解答用紙とも回収します。
7. 記述問題では、指定された字数の8割以上は書いてください。ぬき出し問題では、指定された字数で答えてください。どちらの場合も、句読点やかぎかっこなどの記号も字数にふくまれます。

共立女子中学校

受 験 番 号	氏 名
K	

1

次の1～8の――線をつけたカタカナを漢字で、漢字の読みをひらがなで書きなさい。

1 校長先生のお話を聞き、セスジがのびる思いがした。

2 委員長がソツセンして動くことで、よい例を示す。

3 海岸で人々がニツコウヨクをしていた。

4 業務にシショウをきたす。

5 雑誌のフロクが楽しみた。

6 益虫を駆除してはいけない。

7 犬と川辺を散歩する。

8 刷りこみにより、ヒヨコは猫の後ろを歩くようになった。

2 次のことわざの (A) (E) にあてはまる漢字一字を書きなさい。ただし、同じ記号の () には同じ漢字があてはまります。

・ (A) 後のたけのこ

・ (A) 垂れ (B) をうがつ

・ (B) の上にも (C) 年

・ (C) つ子の魂 (D) まで

・ 雀 (D) まで踊り (E) れず

3

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

言語学者の川添愛さんかわぞえあいと対談した折に、注1 AIのことが話題となった。私は歌集『アボカドの種』のあとがきで次のように書いている。

「①言葉から言葉をつむぐだけなら、たとえばAIにだってできるだろう。心から言葉をつむぐとき、歌は命を持つのだとを感じる」。

歌集のタイトルは、次の一首からとった。

言葉から言葉つむがずテーブルにアボカドの種芽吹くのを待つ

今は短歌を詠むAIも開発されていて、上の句を入れると、数秒で数百首を出力したりする。それはそれで、なかなか面白いのだけれど、結局は言葉から言葉をつむぐ作業だ。生きた人間である私たちが目指すのは、②心から言葉をつむぐこと。AIがーからーOOを生むのを横目に、自分はOからーを生みたいと思う。

意外だったのは、川添さんが「AIの創作と人間の創作を切り分ける答えだと思う」として、『アボカドの種』から次の一首をあげてくれたことだ。

作品は副産物と思うまで詠むとは心掘り当てること

この歌が生まれた経緯けいゐについては「歌うに値する体験あたい」で触れた。注2ホストのみんなの情熱に気おされるようにして生まれた一首だった。

川添さんかわぞえ曰く「AIは作品をいっぱい作るけど、人間にとって作品はあくまで副産物であり、心を掘り当てることが創作の醍醐味だいごみなんだと教えていただいて、すごくしつくりきました」。AIという文脈かんしやうの中で鑑賞してもらい、一首が別の方向から光をあてられ、今までにない表情を見せてくれたように感じた。川添さんは、こうも言う。

「AIが書く小説がはやったら、人間の作家は職がなくなってしまうんじゃないかとよく言われますが、それは生産に焦点が当たっているから。作品を生み出すモノとして捉えたら、作家もAIも同じですよ。私は作品を書く過程で自分の中を掘り下げて、嫌だったことや楽しかったことが作品の中に何となく出てくるところが面白いので、やはり書いていますね。作品は大事だけれどあくまで副産物で、文章を書いたりすることで自分をよく知ることが一番の宝物、主産物なんだと、非常に腑に落ちました。どことなく人間をマシンとして見ているから、『AIに侵食される』みたいな論が出てくるのかなと思います」

④結果の優劣に意識がいきすぎると、見失うものがある。ご自身で小説も書かれる川添さんの言葉には説得力があった。もう一首、彼女があげてくれたのが歌集『プーさんの鼻』にある次の歌。

⑤「カーかん」にいろんな意味のしつぽあり「カーかんやって」「カーかんちようだい」

「これは、一見、子どもからお母さんへの呼びかけでも、意図としては要求だったり、お願いだったりする、という歌ですよ。最初からそんなふうには、言葉に表面的じゃないいろんな意図を込めているのが、人間の言葉の本質なのかなと思いますね。隠れた意図を指す『意味のしつぽ』という表現がすごく面白い」

まことに言語学者らしい視点からの鑑賞だ。言葉には「意味」と「意図」があるという。「カーかん」の意味は「お母さん」だが、時と場合によって「お母さん、これやって」「お母さん、これちようだい」というような意図を持つ。表面的な意味だけでなく、背景にある意図を汲み取れるのが人間のコミュニケーションだ。⑥もしAIに伝えようとするならば「やって」や「ちようだい」の部分を入力しなくてはならないだろう。

(俵 万智『生きる言葉』新潮社による)

注1 AI = 人工知能(Artificial Intelligence)の略称

注2 ホスト = 筆者が歌を詠み楽しむための会に呼ばれた際の、その会の主催者たち

Ⅰ——線①「言葉から言葉をつむぐだけなら、たとえばAIにだってできる」とありますが、これはどのようなことを言っていますか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア一つの言葉を出発点としてそれと関連性のある言葉を探し出すという作業だけならば、人間よりもAIの方がずっとすぐれているということ
 イアボカドの種が芽吹くのを待つように時間をかけることをせずに、スピーディーに言葉を生みだすだけならば、AIにもできるということ
 ウ心を持たないAIが無数の言葉を次々と連ねる現代社会においては、AIによって作られた歌の中にこそ名作が生まれるだろうということ
 エ歌を作るときにAIを利用して言葉を次々と連ねていくという便利で簡単なやり方が現れた以上は、今後は作歌に人間が関わる必要はないだろうということ

オ自分の心の奥底にある気持ちを表す言葉を探すのではなく、言葉と言葉を適当につなぎ合わせるという作業だけならば、人間ではなくAIに
 もできるといふこと

2——線②「心から言葉をつむぐ」とありますが、どういうことですか。次の()にあてはまるかたちにして、四十字以内で説明しなさい。

まるでアボカドの種が芽吹くのを待つようにして、() 四十字以内 () こと

(下書き用)

こ と							ま る で … … 待 っ よ う に し て 、

3 ③ にあてはまることばとしてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア 過程 イ 理由 ウ 言葉 エ 作品 オ 自分

4 — 線④「結果の優劣に意識がいきすぎると、見失うものがある。」とありますが、どのようなことを「見失う」と考えられますか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア 作品を生み出す上では、AIも私たち人間も同じであって、作品を生み出す中に自分の気持ちや経験が出てくるということ

イ 文章を書いたり短歌を詠んだりといった創作活動をすることによって、自分の性格が初めて分かるということ

ウ 作品を生み出すために自分自身を掘り下げてよく理解していくことが一番面白く大切なことだ、ということ

エ できあがった作品に対する他者からの評価を気にしすぎてしまうと、本当に大切なことが見えなくなるということ

オ 作り上げた作品が良いものとなるかどうかよりも、その作品を作っていくための途中経過こそが何よりも大切であるということ

5 — 線⑤「『かーかん』にいろんな意味のしつぽあり」とありますが、どういうことですか。その説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア 母親に対する呼びかけを表す「かーかん」という言葉の背景には「これやって」「これちようだい」といった意図が隠されており、幼い子供であっても複雑な交渉を行っている。

イ 「かーかん」という言葉の意味は本来は「お母さん」であるのに、実際の現場では「これやって」「これちようだい」といった要求を表すものと変質しており、本来の言葉の意味が拡大されてしまっている。

ウ 「かーかん」という言葉の意味は本来は「お母さん」であるのに、「これやって」「これちようだい」といった生存のために必要な要求を伝えるコミニケーションとしての意味が追加されている。

エ 母親に対する呼びかけを表す「かーかん」という言葉は、その言葉が用いられる場面によつては「これやって」「これちようだい」といった様々な意図を持つ。

オ 母親に対する呼びかけを表す「かーかん」という言葉に、「これやって」「これちようだい」といった別の意図が込められていることから、人間の言葉の本質がうかがえる。

6 ――線⑥「もしAIに伝えようとするならば『やって』や『ちようだい』の部分を入力しなくてはならないだろう。」とありますが、なぜですか。その理由としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア 表面に表れていない意図を汲み取ってコミュニケーションをできるのは人間同士だけであり、残念ながらAIにはコミュニケーション能力が備わっていないから

イ AIは言葉の表面的な意味だけを理解し、意図を汲み取ることができないため、言葉の背景に込められた意図を明確に表して説明する必要があるから

ウ 表面的な意味だけでなく、背景にある意図をAIが汲み取ることができるようになるためには、AIを使っている人間がAIを育てていかなければならないから

エ 子どもならば言葉の省略が許されるが、子ども以外が行うコミュニケーションにおいては言葉を省略せずにきちんとした日本語を使わなければならないから

オ AIとのコミュニケーションにおいてトラブルが生じないようにするには、丁寧かつ念入りの言葉の選択をして情報のずれを防止する必要があるから

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

どうしてみなさんが「遺伝子組換え」^{くみか}「注¹ゲノム編集技術応用食品」に抵抗を感じるかというのと、やはり「遺伝子」「ゲノム編集」について①、というシンプルな理由になるのではないのでしょうか。遺伝子についてはある程度学校でも教わったはずですが、突然「遺伝子って何ですか」「DNAって何ですか」と聞かれても、大半の人はあまり説明できません。ふわつとした理解にとどまっているんです。

それが悪いわけではないのですが、遺伝子とDNAの違^{ちが}いは何か、DNAと注²RNAの違^{ちが}いは何かなど基本的なことを知らないのと、人間はどう行動するでしょうか。

結局は自分が知らない、よくわからないものよりも、自分の理解がおおよぶ範囲^{はんい}で安全とわかるもの、昔から食べられている②自然^{しぜん}のもののほうを選びます。それは当然のことですよ。

それが大きなうねりになって、世論として「遺伝子組換え」は不安という議論になるんじゃないでしょうか。

昔ながらの自然な製法で育てられた食材のほうがいいと判断するのは、自分を守るための考え方として、決して不合理なことではないと思います。ただ、自然のものが全部安全で、人工のものが安全でないのかというと、③必ずしもそうではないはずです。

農作物だって、科学的な工夫^{くふう}をすることで安定した生産を実現してきました。農薬の開発や品種改良が進んできたおかげで、作物がでなくて飢饉^{ききん}になることも現在はありませんし、農家の人たちは安定して暮らすことができます。

自然農法によってつくられた作物を、一部の人が高い値段を出して買うのはまったく問題ありません。多様性があって、むしろいいと思います。

ただ、社会全体として自然なやり方を大事にしようといった方向性になると、最悪の場合、飢饉^{ききん}が起きて食べるものがなくなったリ、それによって大勢の人が飢えて死んでしまったりするわけです。そして、それも自然が持つ別の側面なのです。

自然派志向というのはある意味、科学が社会を発展させたうえで成り立つものです。自然につくられた作物を買うと気分がいいという、個人レベルだからこそ可能な、一種の贅沢^{ぜいたく}なんです。

そう考えると、④科学の進歩によって不作や飢饉などいろいろな課題を克服してきたのに、進歩が行きすぎると拒否感が生まれるのは、不思議といえば不思議です。これは食品だけでなく、ほかの分野にも言えることです。

たとえば、ワクチン。昔は感染症にかかっても、わけわからないまま命を落としていましたが、科学の進歩によって細菌やウイルスなどの「病原体」が発見されました。医学はその病原体に立ち向かうために、病原体をちよつと体に入れる方法から始めて、改良を加えていき、ついに毒性のないワクチンの開発まで到達します。それなのに、今度はそのワクチンが怖いと思われるはじめてしまった。

科学がどんどん発達した結果、専門家でない私たちの理解を超えちゃうんですね。だから、たとえば新型コロナウイルスワクチンが話題になったとき、mRNAワクチンとはいったい何なのか、誰も答えられませんでした。

ワクチンの基本的なしくみは、病原体を弱くして体に投入すると、体が頑張つてその病原体と戦うから、免疫がつく。次に病原体がやってきたときに、戦った経験があるから、対抗できる。それくらいなら誰でも、なんとなくわかりますよね。

mRNAワクチンは病原体そのものではなく、その一部を使いますから、感染症は発症しません。ただ、そのしくみがどんどん精緻化されていったことで、誰もよくわからなくなってしまうと。

あるいは、エネルギーの話も同様です。昔はエネルギーの供給量が足りなかったし、注4インフラも整備されていなかったで、頻繁に停電が起きていました。私が子どものころもそうでしたよ。

だから頑張つて水力発電所をつくり、場所が足りなくなつて今度は火力発電所をつくり、石油や石炭をたくさん使った。それが環境に良くない、持続可能性がないと言われ、原子力発電を始めるようになった。それによつて停電の心配がまったくなくなつて、電気をバンバン使えるようになったら、今度は原子力発電はけしからん、という流れになった。科学の力で社会が安全で便利になったとたん、科学叩きが始まるのは、よくあることです。

たしかに、原子力発電所の事故は、甚大な被害をもたらしました。それは本当に残念なことなのですが、その間違いや失敗を経て、さらなる改良を加えていくのが科学の考え方です。たとえば発電所を建てるときに津波の高さの想定が甘かったとか、長時間の電源喪失を想定していなかったとか、事故の原因と改善点を見つけていくことに焦点をあてて考えるものなのです。

ただ、原子力発電のしくみをイメージするのは難しいですよね。理解の範囲を超えてしまつて、不安を感じてしまう気持ちとはとてもわかります。

原子の力を使うとはいったいどういうことか。実は、大まかな原理は水力発電や火力発電と同じです。^{注5}核分裂の力を利用して、熱をつくりだして、その蒸気で^{注6}タービンを回しています。おそらく核分裂の力を使う部分が想像しづらいので、拒否感を持つのだと思います。

【A】あるいは、^{注7}科学リテラシーとは別の話になりますが、世界で唯一の被爆国として平和教育が行われ、原爆や放射能に対して強い抵抗心を持つ人が多いのも一因ではあるでしょう。

【B】一方で水力発電は、イメージがしやすいのではないのでしょうか。高いところに水を貯めて、それを下に流した勢いでタービンを回して発電します。そのタービンを回すところに水の勢いの力を使わないで、石炭・石油を燃やしてつくった蒸気を使うのが、火力発電です。

【C】1969年〜2000年の統計によると、世界で約3万人弱が亡くなっています。次に多い石炭エネルギーによる事故でも、2万人強。日本では大きな事故はあまり起きていませんが、2016年の熊本地震では、水力発電所の貯水槽が決壊し、大量の水が流出して土砂崩れが起きたことで、2名の方が亡くなっています。

【D】2023年6月には、ウクライナで水力発電所のダムが決壊し、最大4万2千人に洪水によるリスクが発生すると報道がありました。ダムが決壊した場合の被害の大きさは、非常に大きいものになるんですね。

【E】それでも、水力発電所を全廃しよう、という話にはなりません。今回は不幸な事故だったね、で終わるんです。それはおそらく、水力発電のしくみを、なんとなくでもみんながわかっているからではないでしょうか。

⑤飛行機事故も同じです。大きな事故が起こっても、飛行機に乗るのはやめよう、とはならない。今回はたまたま不幸だったけど、次は同じパターンの事故が起きないように改善していこうと考えます。

それは大半の人が、飛行機はジェットエンジンと翼の形状のおかげで浮力が生まれている、くらいのしくみを理解しているからです。

将来的に、たとえば自分たちが理解できないしくみで飛べるものが出てきたら、事故が起きたとたんに「これを使うのはやめよう」という話になると思います。

科学に関する知識を増やし、科学的思考力を養うことができれば、「この技術はよくわからないから怖い」と漠然とした不安を抱くことが減るはずです。

科学を理解することは、この社会のしくみを理解することにつながります。世の中がどのようにまわっているのかを理解したうえで、日常の中で安心して科学をうまく活用できるようになります。

(竹内 薫 『フエイクニュース時代の科学リテラシー超入門』ディスカヴァー・トゥエンティワンによる)

注1 ゲノム Ⅱ 生物が持つすべての遺伝子情報の総体、DNAの中にふくまれるすべての遺伝子情報

注2 RNA Ⅱ DNAとともに遺伝情報に関わる物質

注3 精緻化 Ⅱ きわめてくわしく細かくすること

注4 インフラ Ⅱ 産業や社会の基盤となる施設や設備など

注5 核分裂 Ⅱ 原子の中にある原子核が分裂して別の種類の原子核ができる現象

注6 タービン Ⅱ 液体や気体などの持つエネルギーを回転運動に変換する機械

注7 科学リテラシー Ⅱ 科学的考えを理解、活用する力

1 ① にあてはまることはとしてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア 学校では教わらないから

イ 違いを説明できないから

ウ 不合理だと思っているから

エ あまりよく知らないから

オ 世論で悪くいっているから

2 — 線②「自然のもの」と正反対の意味を表すことばを文章中から五字でぬき出して書きなさい。

3 — 線③「必ずしもそうではないはずだ」とありますが、その具体例としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア コンビニのおにぎりは、保存料を入れることで食中毒を防いでいる。

イ スーパーでは国産大豆より輸入した遺伝子組換え大豆製品がよく見られる。

ウ 江戸時代には千歯こきなどの農具が開発され、作業効率が上がった。

エ 小麦アレルギーをもつ人のために米粉でパンが作られるようになった。

オ 農薬まみれの果物を食べないように、無農薬製法の果物を買う。

4 — 線④「科学の進歩によって不作や飢饉などいろいろな課題を克服してきたのに、進歩が行きすぎると拒否感が生まれる」を言いかえた部分を二十五字～三十字以内で文章中から探し、はじめの五字と終わりの五字をそれぞれぬき出して書きなさい。

5 — 線⑤「飛行機事故も同じです。」とありますが、どういうことですか。次の（ ）にあてはまるかたちにして、それぞれ二十字以内で説明しなさい。

多くの人々が、飛行機の（ A 二十字以内 ）ため、（ B 二十字以内 ）こと

（下書き用）

B			A			多くの人々が、飛行機の
16						
			ため、			
こと					16	

6 この文章には、次の一文が欠けています。あてはまるのにふさわしいところを【A】～【E】の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ただ、事故による死者数をもっとも多いのは、実は水力発電です。

7 文章の内容と合っているものを次の中から二つ選び、記号で書きなさい。

- ア 社会全体で自然農法を大事にしようとする方向性は、多様性があつてよいと考えられている。
- イ 少量の病原体を体に投入して感染症に対抗するというワクチンのしくみ自体は、ある程度知られている。
- ウ エネルギーを安定的に供給するために、火力↓水力↓原子力の順番で発電所はつくられてきた。
- エ 科学的思考では、原子力発電所の事故は今後の安全性の向上につながるのとらえられている。
- オ 世界で唯一の被爆国として、日本は原子力発電所について強い抵抗心を表すべきである。

(問題はこれで終わりです)